

「心に残る文化財子ども塾」～隠岐の島町立 有木小学校～

1.活動の概要

7月2日(木)、隠岐の島町立 有木小学校の6年生を対象に「心に残る文化財子ども塾」を行いました。テーマは「地域の歴史を学ぼう&勾玉づくりに挑戦!」です。

最初は隠岐の島町教育委員会職員から、ふるさと・隠岐の島町の歴史について教わりました。隠岐の島町には多くの遺跡・遺物が存在し、伝えられています。児童たちは熱心に学び、長く貴重な歴史をその手で確かめました。

古代体験では、まず勾玉について解説しました。古代のアクセサリーである勾玉などの玉類は島根県出雲地域の特産品で、隠岐の島町からも勾玉は出土しています。児童たちは勾玉のかたちの成り立ちやその歴史に感嘆の声をあげていました。

貫頭衣に身を包んだら、お待ちかねの勾玉づくりスタートです。はじめはリズムの良かった石材を削る手も、数十分もたてばヘトヘト。けれどもめげずに頑張って、オリジナルの勾玉を完成させることができました!皆さんの宝物になればうれしいです。

2.活動の様子



隠岐の島町の遺跡は150カ所以上!



はじめて触る、本物の土器や勾玉



これが古代の衣装、貫頭衣(かんとうい)



古代の職人になりきって勾玉づくり!

3.子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・(心に残ったのは)隠岐で見つかったいせきを見たりさわったりできた事です。
- ・(勾玉を)みがくのは、大へんだったけどできあがったらうれしかったです。
- ・(もっと知りたいことは?)縄文時代の石おのなどにふれてみたい
- ・(他に体験してみたいことは?)はつくつの体験です。

2)担任の先生から

- ・古代の衣装を着用しながら勾玉づくりができ、子ども達は大変喜んでいました。
- ・学校の土地から出土した遺物を実際に見せてもらえたこと。
- ・子どもたちの生活する地域の歴史に触れることができたこと。

3)埋文センターから

みなさんの熱心に学ぶ姿勢に、胸が熱くなりました。ぜひ、今日の思い出を大切に、ふるさとの歴史を守り受け継いでください。また、楽しいだけじゃない、大変だった昔の暮らしの体験を通して、現代の暮らしのありがたさを感じてほしいです。そして、過去の歴史を未来に活かしてくれると嬉しいです。